

令和元年度 第1回鶴岡公園環境整備懇談会（会議録）

○日 時 令和元年5月28日（火）午前9時30分～午前11時15分

○会 場 鶴岡市役所 6階大会議室

○出席委員 野堀 嘉裕会長、酒井 忠久副会長、斎藤 善二副会長、
小谷 卓委員、橋本 政之委員、植松 芳平委員、石原 純一委員、
斎藤 礼子委員、加賀山 捷三委員、戸村 昌也委員、
白崎喜美子委員、砂山 隆志委員

○欠席委員 中村 哲也委員、上野 康成委員

○事務局出席者

鶴岡市

建設部長、都市計画課城下のまちづくり推進主幹、
公園緑地係長、公園緑地係専門員、公園緑地係主任、
公園緑地係主任

○公開非公開 公開

○傍聴者 1名

○次 第

1. 開会
2. 挨拶
 - ・会長挨拶
 - ・建設部長挨拶
3. 協議
 - 1) 桜等樹木更新計画について
 - 2) 内堀水質浄化事業について
 - 3) その他
4. その他
 - 1) 護国神社（御金蔵址）板塀の再建について
5. 閉会

会議概要

1. 開 会

- ・都市計画課城下のまちづくり推進主幹による開会宣言

2. 挨拶

- ・野堀 嘉裕会長によるあいさつ

- ・増田建設部長によるあいさつ

3. 協 議

議長：野堀 嘉裕会長

(1) 桜等樹木更新計画について

… 鶴岡市による「鶴岡公園桜等樹木更新計画～桜調査結果・更新方針～」の説明 …

【質疑応答】

《委員》

- ・これまでは施肥をあまり行ってこなかったようだが、数年前にお礼肥えを市民により実施した。行政にすべてお願いするのではなく桜の会や町内会など市民ができることをやっていきたいと改めて思った。6ページのスケジュールでは年間管理作業は令和2年度からとなっているが、今年度は年間管理作業を行わないということか。

＜事務局＞

- ・今回の計画に基づく管理作業のスケジュールを表したものとなっている。現在も少しではあるが通常の管理作業は行っていることから、令和元年度まで表の矢印が伸びていく形となる。

《委員》

- ・ソメイヨシノは日露戦争の戦勝記念として植栽されたとされているが、その後に植栽されたものはオオヤマザクラや八重桜などを植えており、植栽場所や品種は思いつきで配置しているように思える。先人は鶴ヶ岡城に思いをこめてエドヒガン桜を中心としてシダレ桜を正面に植栽したのではないか。また、酒井忠明さんは歌会始の際にシダレ桜を植えたという歴史がある。

このような歴史を踏まえて、ソメイヨシノが老木になったからまた次もソメイヨシノを植えるのではなく、シダレザクラのエリアや松のエリア、ソメイヨシノのエリアがあってそれぞれ咲く時期と色合いが違う。ソメイヨシノは一斉に咲くことから綺麗に見えるが、鶴岡の地や鶴ヶ岡城址に合った公園樹木の基本理念についても話し合いを行いながら決めていく必要がある。

＜事務局＞

- ・委員のお話をご意見として伺い、今後の更新計画を策定する際に再度議論させていただきたい。

《委員》

- ・鶴岡公園の桜を見るとソメイヨシノがほとんどのため花が咲く期間はいいところ10日位で終わってしまうので何か物足りない気がする。鶴岡高専にはヤエザクラが多く植えられており桜の木の下で市民が弁当を食べたりしている光景を見る。鶴岡公園にもヤエザクラのエリアを設けることで、ソメイヨシノが散ってもヤエザクラが楽しめるような公園にすれば公園に来る人も多くなるし市民の目も公園に向いてくるのではないかと考える。

長期計画を策定する際にこのブロックはシダレザクラ、このブロックは八重桜とブロック毎の品種を明確にしていけばいいのではないか。

《委員》

- ・花見の際に露天商が出店するがエドヒガン桜の前にもかき氷屋など無造作に出店しているので、城址公園として露店のエリアと桜を楽しむエリアなど設定するなど考えて

いく時期にあるのではないかと今年の花見の際に感じた。

《委員》

- ・ 長期的計画での品種の転換については、一斉に伐採して行うのではなく長い目で見て悪くなった桜から更新の際にシダレザクラや八重桜に転換していく方法がよいのではないか。
- ・ 鶴岡公園は無料で桜を鑑賞できる公園であるので維持管理については基本的に税金で賄っているが、八重桜などを植えて花見の期間を長くすることで経済的な効果も長く得られることから品種を転換するという計画は良いと考える。

《会長》

- ・ いろいろご意見をいただいたので、事務局には今回いただいた意見を今後の計画に反映させていただきたいと思う。

(2) 内堀水質浄化事業について

… 鶴岡市による「鶴岡公園内堀水質浄化事業概要」の説明 …

【質疑応答】

《委員》

- ・ 鶴岡公園の堀の規模で実施している先行事例があれば紹介してもらいたい。
- ・ 鶴岡高専ではテーマを与えられて学生や学校全体で小水力発電など色々なものを作り始めているようだ。この事業に関しても役所やメーカーだけで進めるのではなく鶴岡高専や山形大学から研究のテーマにしてもらって検証してはどうか。

＜事務局＞

- ・ テレビ等で大学や企業などが協力し堀や池の水質浄化をしている事例が番組を通して紹介されている。また、全国を見渡すとアオコが問題化されている所は何カ所かあるようだが、手を付けられなくしているという状況と思われる。

《委員》

- ・ 調査結果によると堀の堆積物の量が非常に多い結果となっている。堆積物はガスなどの発生により水質を悪化させる原因となっているので、この堆積物を片付けずに水だけ動かしても良い結果になるのかと疑問がある。堆積物を取り除けば溶け出る酸素も少なくなることから、その後に水を回した方がアオコの発生も少なくなるのではないか。

＜事務局＞

- ・ 事務局としても堆積物が除去できれば一番の原因を取り除くことが出来ると考えている。鶴岡公園の堀の堆積物を除去した場合は廃棄物として処分する必要があり、処理費用が相当かかることから、まずは水流を発生させることでどの程度改善するのか確認させていただき、今後堆積物の除去や処分方法についても検討していきたい。

《委員》

- ・ 水は流れが生命線であることから、大道堰からの水利権を市が取得し年間を通して水が堀に入るように農業団体と交渉していくべきである。
- ・ もう一つの水質悪化の原因は菖蒲園と考える。菖蒲園の堀は水路の形状となっており、水深も浅いことから桜の葉等が堆積しやすく流れが悪くなっている。菖蒲園をもう少し小さくして水深の確保と水流を作ることが浄化を行ううえで大事と考える。

《委員》

- ・ 表3の内堀水質分析の結果のとおり9月まではデータの的にはそれほど水質が悪くない

10月になると農業用水が止まるため水質が悪くなっているのは、水流が無くなるためであり、水流を発生させれば水質が改善されるという根拠となるもの考える。

- ・桜の落ち葉や散った花卉が堀に落ちて腐敗することがCODなど水質悪化の原因であるので、原因を取るために春と秋に花卉や落ち葉を舟を入れて網で回収すれば水質もかなり違ってくると考える。
- ・まずは水流発生機を入れてみてどのような効果があるのかやってみることが大事であり、その結果により次の策を考えなければならない。

《委員》

- ・菖蒲園の所は非常に堆積物が堆積している状況にあり水流機の設置予定も無いようである。菖蒲の花と藤の花を楽しみに公園に訪れる人もいるので、菖蒲園を無くするのではなく、水路が狭いことからそこだけでも堆積物を撤去して、水の流れを良くし水流機を設置したらどうか。

《委員》

- ・鶴岡公園は市民が好きな公園であり鶴岡のシンボルとなっているので、ボランティアなどで公園をきれいにする募集を行えば市民もたくさん集まると思うので、市民参加のボランティアなどを検討してはどうか。

《会長》

- ・表5の水深・堆積物調査結果で⑦は水深73cmに対して堆積物が22cmと少ないが、ここは過去に浚渫をしたことがあってその際に底にコンクリートを打ってから22cm溜まったのか。
- ・底固めしてから22cm溜まったとしたらその期間がどの位かわかれば、1年間にどのくらい堆積したか計算できる。それを流用すれば他の場所の堆積物は何年かかって堆積しているかもだいたい概算できるのでないか。
- ・私的にはここ10年間位は堆積物の深さは変わっていないのではないかと考える。毎年毎年堆積物の原因が堀に落ちても分解するスピードと相まって均衡状態となり、水深はあまり変わっていない。このことから水流発生機による水の攪拌は効果が出るのではないかと考えている。
- ・ただし、下の堆積物を攪拌してしまうと大変なことになるかもしれないが、深さが70cm程度あるといわれる水の部分だけを攪拌することは可能と思われる。

《委員》

- ・鶴岡市は農閑期になると水が還流できなくなることから、鶴岡市専用の水路を作り水を回すことは出来ないかと常々思っている。農業は大事なものであるため水の問題は色々あるが、将来に向けて考えていければと思う。

＜事務局＞

- ・大道堰の水利権の確保に向けて引き続き関係機関にお願いをしていく計画であるのでご理解をいただきたい。
- ・菖蒲園の堆積物の撤去のお話が委員からあったが、都市計画課としても職員でボランティア的に掃除してみようという声も上がって来ていることから、事務局としてもただ見ているだけではなく、一緒になって動いていくことで少しでも水の流れが出来ればと考えている。
- ・委員からもボランティア等のご意見をいただき、ちょうど我々としても同様の考えを持っていたことから、この点については一緒になって行っていきたいと考えていることから呼びかけをした時にはご協力をいただきたい。

進行：事務局へ

4. その他

＜事務局＞

・鶴岡公園内の護国神社周囲に荘内神社により板塀の再建計画があるとのことで、新聞等で委員もご承知のことと思うが、鶴岡公園及び鶴ヶ岡城址としての景観を構成するうえで重要な内容と考えており、本日は石原宮司もご出席いただいているので計画の内容についてご説明をいただきたい

《石原宮司》

- ・護国神社の場所には以前、御金蔵という大きな蔵があり、当時は板塀が大宝館のあたりまで続いていた。この板塀を境内の南側と西側の堀側に再建しようと考えている。本来は板塀の屋根は瓦であったが、重さの関係から難しいことから屋根は板拭きにして一つ置きに矢狭間と鉄砲狭間の穴を開けることとする。
- ・教育委員会と設置に関し協議をしており、7月頃から設置工事に入りたいと考えている

《委員》

- ・護国神社はお城のように見えるが、鶴ヶ岡城から見ればお尻の部分にあたることから、全体に対するビジョンが無いままお尻の部分だけきれいにしても始まらない。
- ・鶴ヶ岡城址全体をどうするのかについて話をする機会を市の文化財担当から持っていていただきそれぞれの立場の委員の意見を入れて決めるべきである。

5. 閉会

- ・都市計画課城下のまちづくり推進主幹による閉会宣言